



被災地へ花の贈り物

気仙沼市などに1600鉢

山下都議ら
届け届

山下容子都議は12

日、東京都中央卸売市場・東京砧花き（世田谷区大蔵）の村田市子代表、宮城県気仙沼市などの避難所を訪問し、観葉植物や花の鉢植え1600鉢を届けました。山下氏の出身大学である千葉大学園芸学部の男子大学院生一人もボランティア

で同行した。

「避難所に花を飾り、そこで生活している被災者の皆さんの心を癒したい」との村田さんの提案を受け、山下氏が寄贈先を調整した。

一行は11日に4トトラックにヒマワリ、アジサイ、ガーベラ、カラーなど数十種類の花や観葉植物など160

0鉢を積載して東京を出発。12日、仙台市太白区の「あすと長町仮設住宅」に鉢植え300鉢を、気仙沼市内の5か所（同市立小泉中学校、同市民会館隣の仮設住宅、松岩公民館、浦田、片浜）の避難所に計1300鉢を寄贈した。

山下氏は13日、青梅市河辺町の同氏事務所で「避難所は、仮設住宅に移る前段階で、これから新しい生活の一步を踏み出すのだという前向きな活力があった。一人一鉢を、と花の鉢植えを皆さんに手渡すと、心からの笑顔で喜んでいただけた」と話した。

現地の様子については「崩落した鉄道など、破壊されているものも大ききから、この地震と津波の甚大さや恐ろしさを改めて感じた」とし、「被災地の様子も日々、変化している。今後は、現地の状況を確認しながらの支援が必要になると思います」と感想を話した。